**地域密着型サービス運営推進会議記録（第4回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム高砂 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和3年10月12日 | |
| 会場 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、文書で報告 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 0人 |
| 利用者家族代表 | 0人 |
| 地域住民代表 | 1人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 1人 |
| 市職員 | 0人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | １、施設状況について  男性1名、女性12名　計13名、平均介護度2.1  8月16日、入院の為、要介護1の女性  9月8日、入院の為、要介護2の女性  9月23日、入院の為、要介護3の女性  9月25日、他施設へ転居の為、要介護1の女性が退去となる。  現在、数件、入所問い合わせあり、検討中である。  ２、入所者状況について  新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、面会禁止継続中であり、  ベランダの窓越しに面会をしていただいてる。  新規感染者数が減少しており、面会解除については状況を見ながら、  ロイヤルケアセンターと相談していくこととなる。  残暑もきびしく、入所者様には、水分補給や空調の調整、適宜な休息  など十分な配慮をさせていただいている。  ３、行事報告について  新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアさんの  慰問や外出行事は自粛している。  室内でできるおやつ作りや季節を感じるレクを行っている。  9月23日　敬老会  10月4日　運動会  　　　折り紙で作ったコスモスの壁画作り  ４、職員研修報告  　8月の勉強会　※事故防止対策委員会　　　　※感染対策委員会  　　　　　　　　※認知症委員会　　　　※身体拘束委員会  　9月の勉強会　※褥瘡予防対策委員会　　　　※防災対策委員会  　　　　　　　　※食事委員会　　　　　※入浴委員会  　　　　　　　　※排泄委員会  ５、身体拘束について  　高砂では、原則として身体拘束は行っていない。  　身体拘束をやむを得ず行う理由として、徘徊や興奮状態での周囲への  　迷惑行為、転倒のおそれのある不安定な歩行や危険な行動を防止する  　ために「必要」だといわれることがある。しかし、それらの状況には  　必ずその人なりの理由や原因があり、ケアする側の関わり方や環境に  　問題があることも少なくない。したがって、その人なりの理由や原因  　を徹底的に探って除去するケアが必要であり、そうすれば身体拘束す  　る必要もなくなる。  　まず基本的なケアを十分に行い、生活のリズムを整えることが重要。  　　①起きる。　　　②食べる。　　　③排泄する。  　　④清潔にする。　　　⑤活動する。  　これらのケアを行う場合には、一人ひとりを見守り、接し、触れ合う  　機会を増やし、伝えたくてもうまく伝えられない気持ちやサインを受け  　止め、不安や不快、孤独を少しでも緩和していくことが求められる。 |
|  |
|  | |
|  |  |
|  |